①　天気といえば？連想する言葉をたくさん書いてみましょう！

自分の意見

他の人の意見

②　次のことわざはホント？それともウソ？ その理由も考えてみよう。

　夕焼けの次の日は晴れ　　　ウソ・ホント　←○をつけよう！

　・理由

　　　　　夕焼けが見えるためには西の空が晴れていることが必要。

　　　　　天気は西から東へと変化するので、西の空が晴れているということは

　　　　　明日も晴れになる確率が高いということ。

　ツバメが低く飛ぶと雨　　　ウソ・ホント　←○をつけよう！

　・理由

　　　　　ツバメは空を飛んでいる小さな虫を食べています。湿気が多くなると

　　　　　虫が高く飛べなくなるので、それを捕まえるために低く飛んでいる。

　　　ツバメのえさは空を飛ぶ小さな虫です。湿気が多くなると虫が高く飛べなく

　カエルが鳴くからか～えろ！（雨が降る？）　ウソ・ホント　←○をつけよう！

　・理由

　　　　　カエルは皮ふ呼吸するために、湿った所を探す必要があります。

　　　　　空気の湿り気を感じて鳴くことがあるようです。

　　　カエルは両生類で、つねにからだが湿っていなければなりません。空気が湿って

　てるてる坊主をつるすと晴れ　　ウソ・ホント　←○をつけよう！

　・理由

　　　　　天気が良くなって欲しい時のおまじないの一種。効果の有無は運次第。

　　　ただのおまじないです。

　ある地点におけるある時間の大気の状態を表す要素のことを（　気象要素　）という。気象要素の主なものとして次のものがある。この気象要素は上空からは（　　気象衛星　　）でなどで地球の大気のようすや海のようすを地上からは（　　レーダー・アメダス　　）などで雨や風、雲の観測を行い天気予報のデータとして使われている。

（　　湿度　　）

(　乾湿計　　　　)で測る。

（読み方は後で教えます。）建物から離れた風通しの良いところ。単位は( % )

（　　気圧　　）

(　アネロイド気圧計　)で測る。１気圧＝1013ｈＰａ＝約１Ｎ／ｃｍ２ １００ｍ高くなる毎に約１０ｈＰａずつ低くなる。

（　 気温　　）

(　百葉箱　　・　　　　　)で

測る。建物から離れた風通しの良い高さ1.2～1.5ｍのところ。単位は( ℃ )

（　　風力　　）

風の吹く強さを

（１３　段階）で

矢羽の本数で表す。

（　　風向　　）

（　風向計　　）

で測る。風の吹

いてくる方向を

（１６方位）で表す。

（　　雲のようす　　）

雲の形（名前）　高さ、厚さ

雲量（全天に占める空の割合）

10％未満…快晴　10～90％…晴れ　90％以上はくもり





　２年　　組　　番　氏名

読み物　観天望気と気象観測

　「明日の天気はどうだろうか？」「今年の天候はどうだろうか？」将来の天気を知りたいと願う気持ちは、今も昔も変わりません。では、レーダーやアメダス、気象衛星のなかった時代にはどうやって天気を予想していたのでしょうか？　実は、晴れたり雨が降ったりする前に、空がどんな様子をするのかを長い間観察しておいて、天気が変わる「きざし」を見つけ出そうとしていたのです。「夕焼けが見えたら次の日は晴れ、朝焼けは雨」「ツバメが低く飛ぶと翌日雨」というようなものが代表例で、雲の様子や風向、空気の湿り気などを自分で確かめて天気予報をする方法で「観天望気」と呼ばれています。この観天望気は現代の天気予報に照らし合わせてみても、かなりの確率であたることがあるのです。先にあげた例はよい例でしょう。

　ただ、実際には、自分の目に見える範囲の空を観察するだけで天気予報をすることは難しいのです。そのために、現在では、世界各地で観測された気象データをもとに、コンピュータを使って予報を出しています。方法は科学の進歩によって変わってきていますが、長い間の観察データの蓄積や経験から天気予報をしている点は、今も昔も変わりません。君も空を見上げて、観天望気してみましょう。

